

札幌市しせいかん保育園

令和6年度 事業報告書

法 人 名 社会福祉法人 救世軍社会事業団

法人代表者 スティーブン・モーリス

施 設 名 札幌市しせいかん保育園

施設代表者 施設長 吉村 政美

<目次>

1. 救世軍社会福祉事業の理念	-----1
2. しせいかん保育園の理念	-----1
3. 施設概要	-----1
4. 法人理事・監事・評議委員	-----2
5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色	-----2～3
6. 聖書の学び・三園連絡会議	-----4～9
7. 入所児童数	-----10
園児動向	
時間外保育・一時保育利用数	
8. 職員に関する実績	-----11～14
職務分担・職員名簿	
職員の資質向上・職員研修	
法人三園合同行事・福利厚生	
9. 保育課程	-----15～18
保育の内容	
各年齢のまとめ	
10. 年間行事報告	-----18～20
11. 食育実践	-----20～21
12. 施設設備に関する実績	-----22
施設設備	
13. 保健計画実績	-----22～24
健康管理・事故及び負傷	
14. 防災計画実績	-----24～26
15. 要望・苦情に対する対応	-----26
16. 保護者に関する実績	-----26～27
父母の会・懇談会・親子観劇	
保育アンケート結果	
17. 施設間と地域との交流実績	-----27

1. 救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

2. しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

3. 施設概要

種別名称	札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園
所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
電話 FAX	電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570
設置主体	札幌市
経営主体	社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者	理事長 スティーブン・モーリス
園長	吉村 政美
建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建（保育園部分 1階一部 2階一部）
建物面積	保育園部分 1,015.15㎡
事業開始	平成16年4月1日
定員	120名（通常保育80名 夜間保育40名）
保育実施事業	産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育
保育年齢	0歳（産休明け）～就学前
保育時間	昼型 標準時間:7～18時 延長:18～19時 短時間 :8時～16時 夜型 標準時間:10～21時 延長:8～10時、21～22時 短時間 :13時～21時
休園日	日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)

4. 法人理事・監事・評議員

理事・監事

氏名	役職名
スティーブン・モーリス	理事長
石川一由紀	理事
高澤眞智子	理事
細貝順子	理事
久富直樹	理事
石出道雄	理事
伊吹正典	理事
福中千代	理事
繁田勝男	監事
内田肇	監事

評議員

氏名	
西村保	評議員
寺澤勇	評議員
梅田久恵	評議員
秋山智久	評議員
堀千鶴子	評議員
黒澤百合子	評議員
島田裕司	評議員
綱島実	評議員
中島美和	評議員

5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色

<保育の方針>

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設(資生館小学校、子育て支援総合センター(現在は、星友館中学校)、ミニ児童会館、しせいかん保育園)の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していける場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通し、自然とのかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしっかりむすんでいけるよう育てていきたい。

<保育目標>

1. 心身ともに元気な子ども

- ・ 規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
- ・ くつろいだ雰囲気でものの様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
- ・ 全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。

2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども

- ・ 積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とかかわりあいを学ぶ。

3. 自分のことは自分でする子ども

- ・ 基本的な生活習慣を身につける。

<保育園の特色>

平成16年に札幌都心部にあった小学校統合にともない、資生館小学校を基幹とした子ども関連複合施設の設立がなされ、ここに保育園部門として夜間保育を含む乳幼児120名定員で開園する。

前身は豊水保育所であったが、指定管理者の指定を受け保育業務を行っている。入園児は地域に住む子どもばかりでなく、勤務先が園の近くにあるということで、地下鉄・電車等で遠方から通園してくる子どももいる。保護者の勤務時間が年々長くなり、延長保育を利用する家庭が増えている。

夜間保育は、美容師・デパート・飲食店などのサービス業の家庭の利用が多く、22時終了までの保育の子どもに疲れが見られる。園の周りは繁華街で、子どもの遊びに適した場所が少ない。そのような中でも、日々の散歩や交通機関を利用して自然の中で遊ぶことを工夫している。

子ども関連複合施設の利点として、乳幼児期から小学校期までの子育ての見通しをもつことができる。年間を通して、小学校・ミニ児童会館・保育園の交流が行われている。異年齢の交流、特に年長児は小学生との交流の積み重ねによって、次へを見通しを持つことができ、良い経験となっている。保護者にとっても、多彩な年齢の子どもの活動を目にすることで、年齢ごとの子どもの育ちを実感できている。

保育士も子どもたちと一緒に交流に参加することで、日常と違う角度から子どもたちを見ることができ、そのことが保育に活かされるようになってきた。また、教員や指導員と話し合うことで、子どもの育ちの学びが広がったり、保護者へのアドバイスにも参考になっている。

6. 聖書の学び・三園連絡会議

<聖書の学び>

■毎週火曜日に4歳児クラスと5歳児クラスが聖書と賛美の学び

■毎月第3木曜日に職員が聖書と賛美の学び

月	賛 美 (上段：こども 下段：職員)	聖書のことば (上段：こども 下段：職員)
4月	さんびせよ	「新しい歌を主に向かって歌え。」 (詩編96編 1 節)
	さんびせよ	「新しい歌を主に向かって歌え。」 (詩編96編 1 節)
5月	そらのとりは	「沖に漕ぎ出して網を降ろし漁をなさい。」 (ルカによる福音書5章4節)
	そらのとりは	「沖に漕ぎ出して網を降ろし漁をなさい。」 (ルカによる福音書5章4節)
6月	イエスによりわれらは一つ	「見よ、それは極めて良かった。」 (創世記 1 章 31 節)
	イエスによりわれらは一つ	「見よ、それは極めて良かった。」 (創世記 1 章 31 節)
7月	まひるのように	「隣人を自分のように愛しなさい。」 (マルコによる福音書 12 章 31 節)
	まひるのように	「隣人を自分のように愛しなさい。」 (マルコによる福音書 12 章 31 節)
8月	ありがとう	「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」 (マタイによる福音書7章 12 節)
	ありがとう	「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」 (マタイによる福音書7章 12 節)
9月	全地よ叫べ	「主において常に喜びなさい。」 (フィリピ信徒への手紙 4 章4節)
	全地よ叫べ	「主において常に喜びなさい。」 (フィリピ信徒への手紙 4 章4節)

10 月	主がともにいる	「ひとりよりもふたりが良い。」 (コヘレトの言葉 4 章 9 節)
	主がともにいる	「ひとりよりもふたりが良い。」 (コヘレトの言葉 4 章 9 節)
11 月	主われを愛す	「成長させてくださったのは神です。」 (コリントの信徒への手紙 3 章 6 節)
	主われを愛す	「成長させてくださったのは神です。」 (コリントの信徒への手紙 3 章 6 節)
12 月	うれしい うれしい	「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 (ルカによる福音書 2 章 15 節)
	うれしい うれしい	「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 (ルカによる福音書 2 章 15 節)
1 月	いっしょにうたおう	「受けるよりは与える方が幸いである。」 (信徒言行録 20 章 35 節)
	いっしょにうたおう	「受けるよりは与える方が幸いである。」 (信徒言行録 20 章 35 節)
2 月	いっしょにうたおう	「わたしは弱いときに強いからです。」 (コリントの信徒への手紙 2 12-章 10 節)
	いっしょにうたおう	「わたしは弱いときに強いからです。」 (コリントの信徒への手紙 2 12-章 10 節)
3 月	いっしょにうたおう	「わたしはあなたと共にいる。」 (イザヤ章 43 章 5 節)
	いっしょにうたおう	「わたしはあなたと共にいる。」 (イザヤ章 43 章 5 節)

※職員会議は、日中におこないません。

会議の前には御言葉を配布し、聖歌・聖句の確認をしてから始めました。

<三園連絡会議>

月日	賛美と聖書	議題
4月22日	救世軍軍歌集16番 聖書イザヤ書 社会部長 事務長 リモート参加	各園の状況報告 ・三園今年度も定員割れでのスタートとなる ・菊水上町：認定こども園2年目 ・桑園保育所：4月より認定こども園となり1号認定9名の内6名が1号に移行する。同時に一般預かり保育事業を開催 ・しせいかん：定員割れのため、待機児童の有無の確認をする 2歳児右手根本小指骨折右全治1か月となる怪我する 完治まで30日以内ではないので未来局に報告する ・各園、施設設備計画のもと修繕修理を行って ・定年退職について・菊水、桑園が定年を迎える職員がいるため早急に待遇等について検討していく
6月27日 (木)	こどもうたぼん34 聖書 創世記1章31節 社会部長 事務長 リモート参加	各園の状況報告 ・菊水上町：ボイラー・クーラー設置工事、パソコン購入 ・桑園：5月より一般の預かり保育の問い合わせがあり受け入れを始める。新規事業のひまわり広場も同じく開催 ・しせいかん：定員割れの現状と今後の状況も踏まえてどのように札幌市に伝えていくのか実態をまとめていく (社会福祉部長が来札するまでに)
7月29日 (月)	こどもうたぼん76 聖書 コリントへ第2の手紙5章14節	各園の状況報告 ・菊水上町：職員体制…産休に入る職員、手術する職員(調理員)がいるため旧職員に声を掛ける ・桑園：一般型預かり事業及びひまわり広場の利用希望者問い合わせが毎月ある。入園に繋げて行きたい ・しせいかん：3歳児担任より休職希望が出ている。保護者から2件の苦情が続いているためではないかと考えている 統括園長：その職員に対してどう鼓舞して守ってあげるか、また他の職員の声を聴き、働く環境を整えることが必要。これは園長の仕事でもある。 研修報告 ・南太平洋東アジア地区士官研修(SPEACO)奈緒美チャプレン参加。スペアゾーンの士官交流と聖書の学び、他の国を知るという学びが大きいとの報告を聞く。 定員減について ・社会部長が来札した際、未来局に各園の現状や要望を提起するするためには、定員減となった場合の試算を出していく。全国施設長会議に試算表を持参し相談する。

9月24日 (火)	聖書 フィリピの信徒への 手紙4章4節 社会部長 事務局長 リモート参加	各園の状況報告 ・菊水：5歳児、転倒しくるぶしにひびが入る怪我をしたため運動会が心配されたが無事に参加できる ・桑園：1歳児、おやつ準備中、椅子に座っている最中に痙攣が始まり、救急車で病院へ。到着後、嘔吐意識回復 ・しせいかん：調理員パートを募集。1名を採用 怪我や痙攣、てんかん発作などが起きた時の対応・対処法を各園職員と検証とし確認を行っていく。 最低賃金について ・最低賃金が変更になったので、新しく雇用契約書を交わす
10月24日 (木)	こどもうたぼん93 聖書 イザヤ書43章4節 社会部長 事務長 リモート参加	各園の状況報告 定員減について ・菊水上町90名→80名 桑園90名→70名の定員方向で進める ・しせいかん：児相案件が2件。今後も児相・警察と連携を取っていく。さんが今月末で退職 社会部長来札について ・札幌市未来局との話し合いについて内容確認 ・児童及青年弱者保護研修（参加職員の人数確認）
11月9日 (土)	社会部長来札 (午前中) 未来局訪問 社会部長 三園園長 札幌市未来局 施設運営課 子育て支援課 各担当者が出席 (午後) 札幌小隊にて、	札幌市未来局訪問 ・社会部長より未来局へご挨拶（未来局長を含む各部署） ・上町・桑園は定員割れの状況に伴い今後の保育運営を考えて行く上でも定員変更の申請を出す旨を伝える。 ・しせいかんも指定管理ではあるが、定員割れや夜間保育の利用者についての実態を話す。 ・社会部長：少子化問題を含め今後の保育園運営についての三園の状況説明の補足。しせいかんについては未来局の方針を問う。 ・未来局としては、2園の状況は理解したので申請の手続きを行って下さい。しせいかんについては、指定管理についての条例があるために難しいとの回答をもらう。 各園の状況報告 ・菊水上町：職員体制 正職1名が退職希望 ・桑園：排水口、2階職員トイレ便器取り替え。エアコンは資金不足のため

	三園連絡会議	現状として取付工事は出来ない。 ・社会部長・統括園長より、こども達が快適に過ごせることが職員も安心して生活が出来保育が守られることになる。現在の状況を法人にも相談し早急に改善するべき。札幌市からの補助金を確認して先ずは見積もりを出す。 ・しせいかん：児相案件があり警察、児相と連携を取っていく ・保育部会について：各園状況・佐野保育園職員との交流・各園就業規則等情報交換予定
11月21日 ～23日 (木～土)	保育部会 佐野保育園 参加者 札幌三園 園長 呉保育所 園長 佐野保育園 園長 [redacted] チャプレン 22日 [redacted] 社会部長参加 交流会 19:00～20:00	五園状況（呉・佐野・札幌三園） ・呉：幼稚園型認定こども園に4月より移行。収入が増えている 正職を増やし年休を取りやすくしている ・佐野：働きやすい職場にするため看護体制度をパートさんも使用できるように改正。来年度認定こども園に移行を考えている。 ・菊水町：育児休暇に入る職員がいる。産休の整備、安心して出産し働き続けられる職場を目指したい。定年の職員が続くので定年後どのようにして残ってもらうか。保育の継承など必要と考えている。 ・桑園：認定こども園に移行。一般預かり・預かり事業も開催。 ・しせいかん：札幌市に定員減、認定こども園について確認をするが、指定管理という事で条例を変えないといけいないので、すぐには出来ないとの回答をもらう。 就業規則・給与規程について確認。 ・各園の就業規則・給与規定について意見交換。 佐野保育園職員と意見交流会 ・事前アンケートをもとに日々の悩みは共通する。保育は各園違うが子どもの為に工夫しながら保育していることに共感する。
1月24日 (金)	聖書 ヨハネの手紙1 3章21～24節 [redacted] 社会部長 [redacted] 事務長 [redacted] 園長 リモート参加	各園の状況報告 ・桑園：エアコン3台1月25日・26日に設置が出来ることになる。総額260万円：本営より160万を寄附金していただき残りは札幌市冷暖房設置補助金で支払う。 ・しせいかん：避難計画を消防に提出していないことが監査で指導される。小学校が提出していたが、しせいかんとしても提出する。定員減について再度札幌市に問い合わせしていくが状況は変わらない。 ・菊水町：保育士1名体調不良のため2月よりパート職員へ

		桑園・菊水上町 札幌市指導監査資料提出 これから確認の電話がくる
11月9日 (土)	聖書 コリント信徒への手紙 1節	各園の状況報告 ・桑園：1歳児クラス女兒 食後フォークを持ち歩き転び舌の裏に刺さる。口腔外科を受診、特に治療はなく様子見との診断。 未来局には報告する - 統括園長：この時期立ち歩くとはどういう状況か保育を振り返る必要がある事を指摘される - 感染症…胃腸炎が流行する。一日感染者10名以上感染。保健所に報告。感染症が出た場合の2園からの対応を聞く。桑園の対応については初期対応の甘さ、換気等見直しが必要と意見をもらい早急に見直しをしていく。 ・菊水上町：来年度に向けてベランダ修繕・ボイラー交換を行う ・しせいかん：法人繰入金がないためどこかで（資金面）役に立てる部分はないかとの提案。今後三園会議で検討していく 公定価格 人働による差額分について ・桑園：差額金約500万を年度内に支払えるのか試算を急ぎ、どのように支払うか相談をする。金額の配分については各園考える。 ・未来局よりマイナンバーカードへと移行した場合の取り扱いについてお知らせがあったため、今後も情報を集めながら検討していく。

今年度は、三園の運営状況や認定こども園移行、指定管理継続契約、ホームページ作成と苦情問題等大きな議題に取り組んできましたが、定員割れ、人材不足からの運営危機問題や保護者との信頼関係作り、保育の検証と継承、保育士の育成等の課題が残されました。今後もより一層、三園の連絡会の中で様々な問題、課題について協議しとり組んでいくと共に、園長同士助け合い、日頃の情報交換も密にしながら、三園の保育園が良い方向に向かえるように力を合わせていきたいと思います。

7. 入所児童数＜園児動向＞

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	6	13	21	15	19	18	92
5月	6	13	21	15	19	18	92
6月	6	13	21	15	19	18	92
7月	6	13	21	15	19	18	92
8月	7	12	21	15	19	18	92
9月	8	12	21	15	19	18	93
10月	10	11	21	15	19	18	94
11月	10	12	21	15	19	18	95
12月	11	12	21	15	19	18	96
1月	11	12	20	15	19	18	95
2月	10	12	21	15	19	18	95
3月	10	12	21	15	19	18	95
計	101	147	251	180	228	216	1,123

＜時間外保育・一時保育利用数＞

月	昼型時間外	夜型時間外	時間外合計	一時保育
4月	221	8	229	0
5月	171	9	180	0
6月	197	8	205	4
7月	237	7	244	11
8月	225	9	234	10
9月	240	8	248	5
10月	252	8	260	3
11月	228	8	236	2
12月	207	11	218	0
1月	208	19	227	0
2月	243	15	258	0
3月	238	20	258	0
計	2,667	130	2,797	35

＜職務分担・職員名簿＞

3月園児数合計…95名 職員数合計…29名(嘱託含む)

<職員資質向上・職員研修>

(1)園外研修報告

日付	研修名	主催	参加者
7/5	保育中の子どもの重大事故・怪我を防ぐ	私保連	████████
7/26	現代の子育て事情	北海道保健福祉部	████████████████
8/2	幼児期における視覚発達の特徴と注意すべきポイント	私保連	████████
8/7	子どもたちの食事を支える食育	私保連	██████████████
8/16	安全確保とマネジメント	札幌市	████████
8/16	役職向けセミナー	札幌市	████████
8/29	あそびが育つ保育デザイン	私保連	████████
9/13	乳幼児期の性教育	私保連	████████
9/24	これからの札幌市の幼児教育の進む道	私保連	████████
9/27	特別な配慮を必要とする子供が輝くクラス運営	私保連	████████
10/2	保育のなぞルールを見つけて保育を見直そう	私保連	████████████████████
10/25	生涯における心身の健康の土台は乳幼児期に作られる	私保連	██████████████
10/26	これだけは知っておきたいことばのちから	私保連	██████████████
12/23	保育士の意見、専門性を高める学びとは	私保連	██████████████
12/25	誤嚥の仕組みと保育現場における予防対策	私保連	全職員
1/22	振り返ろう私の保育	私保連	████████████████████
1/23	重大事故を防ぐために何に気をつけるべきか	私保連	████████████████████ ████████
2/11	小児救急医療地域研修会	北海道医師会	████████
2/22	保育と心理臨床合同セミナー	国際大学	████████

キャリアアップ研修（北海道保育協議会）		
8/11	食育・アレルギー	████████
8/20	マネジメント	████████
11/15	幼児教育	████████
12/2	食育・アレルギー	████████
1/31	障害児保育	████████
2/18	乳児保育	████████

(2)園内研修報告

日付	内容	日付	内容
4/16	前年度の反省、係決めと園庭遊びでの注意事項	10/9	魅力ある職場・働きやすい職場について考える
5/30	園内の危険場所の確認・AEDの使い方	11/13	こどもセンター加藤氏 講演会
6/26	災害について	12/10	齊藤公子から学ぶ リズム
7/30	齊藤公子から学ぶリズム	1/28	保育園のなぞルールについて
8/29	子どもの事故・ケガを防ぐ	2/12	齊藤公子から学ぶ 絵
9/10	運動会準備	3/4	卒園式準備

(3)職員会議等実績

月	職員会議	学習会	三園連絡会	期の総括	指導監査	法人監査	備考
4月	25 日	16 日	23 日				
5月	16 日	30 日					
6月	20 日	26 日	27 日				
7月	18 日	30 日	29 日	20 日		13 日	部長
8月	22 日	29 日					
9月	19 日	10 日	24 日				
10月	17 日	9 日	24 日		～		
11月	20 日	13 日	9 日 21 日・22 日			9 日	事部長 保育部会
12月	20 日	10 日		7 日			
1月	20 日	28 日	24 日		22 日		指定管理監査
2月	20 日	12 日					
3月	13 日	卒園式準備	3 日・25 日	22 日			

<法人三園合同行事>

救世軍リーダー研修 6/4～5 救世軍中堅研修 7/9～11 三園主任交流会 7/3
 救世軍全国施設長会議 9/3～5 三園職員交流研修会 10/29 児童養護研修 11/8
 中堅フォローアップ研修 11/16 保育部会 11/21～22 三園クリスマス会 12/5
 オンライン施設長会議 1/31

<福利厚生>

- ・ 職員健康診断
- ・ 被服費支給
- ・ インフルエンザ予防接種補助

9. 保育課程 <保育の内容>

保育理念		救世軍の主権及び精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が心身ともに健全に成長するために地域と共に歩む共同体を目指す。		保育目標		・心身ともに元気な子ども ・自分の思いを表現し相手の気持ちを思いやる子ども ・自分のことは自分でする子ども		
保育方針		乳幼児期は人間形成において基礎となる極めて重要な時期です。家庭との連携を大切に元気な子どもに育てていく。		保育時間		昼間 7:00-18:00(-19:00時間外) 夜間 (8:00-時間外) 18:00-21:00(-22:00 時間外)		
				主な行事		園外保育、誕生会、クラス組談会、夏祭り、お泊り会、運動会、クリスマス会、果物祭り、味覚祭、餅つき、他、卒園式		
子どもの保育目標		0歳児	生活リズムを整え、快・不快の感覚を育てる。	1歳児	安心できる保育士との関係の中で自分の思いを出す。	2歳児	自我の拡大から充実に向かい中で、自分や友達の存在がわかる。	
		3歳児	生活習慣が身に付き、友達と遊ぶ楽しさが広がる。	4歳児	仲間や保育士と遊ぶことが楽しくなり、簡単なルールを守って遊ぶことができるようになる。	5歳児	生活や遊びの中で意欲的に仲間と共通の課題に向かい、達成感を喜び合う。	
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養育	生命の保持	一人ひとりの健康状態を把握し、生活リズムを整えていく。	安心できる保育士と信頼関係を育み、子どもの心を豊かにする。	生活や遊びを通じて自我を育てる。	基本的な生活習慣の自立に向けて援助する。	身の回りのことなど自分でできることは自分でする。	基本的な生活習慣を身につける。	
	情緒の安定	子どもの欲求などに応答的なふれあいや言葉掛けを行い、安心感を持てるよう接する。	保育士との関わりの中で、安心感を持ち自分の気持ちを出していく。	保育士に気持ちを受け止めてもらいながら安心して過ごす。	保育士との信頼関係の中で自分の気持ちをしっかりと出す。	生活・遊びを通じて友達の中で自分を表現していく。	保育士や友達に受けとめられながら自己肯定感を育てていく。	
教育	健康	快・不快を感じられる心地よい環境づくり。	「自分で」の気持ちを育て尊重する。着脱を自分でしようとし、快・不快を感じていく。	保育士の援助を受けながら自分の身の回りのことをしようとする。	生活の中で自分の身の回りのことをする。	自分の身体に関心をもち、異物を感知したら自分から保育士等に知らせる。	危険な場所・物・行動がわかり、安全に気をつけた遊びや行動をする。	
	人間関係	担任保育士等との安心できる関係づくり。	身近な大人や友達に関心をもち、真似をしたり関わろうとする。	保育士の援助により友達に関心をもち、一緒に遊ぶ。	ごっこ遊びなどを通して簡単なルールがわかるようになり、友達と楽しく遊ぶ。	友達と共同で道具を使ったり、相手のことを思いやりながら行動する。	生活・遊びを通して、友達と協力する大切さを知る。	
	環境	安心できる人的及び物的環境を整えていく。	好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。	身近な自然に触れながら、好奇心や探究心が生まれてくる。	生活や遊びの中で身近な事物に関心をもち、色、数、量、形などの違いを知る。	身近な物や環境に興味を持ち、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	身近な環境に自分から関わり、その性質や存在に興味・関心をもち、	
	言葉	豊かな言葉掛けや歌声・スキンシップ等を通して表情が育まれる。	言葉や一語文、指差し・身振りなどで自分の意思を伝えようとする。	生活や遊びを通して、友達と言葉でのやり取りを楽しむ。	絵本や紙芝居を楽しむ。自分の意志を言葉で伝え、相手の話も聞くようにする。	絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友達との会話を楽しむ。	自分の感じたことや考えたことを相手にわかりやすく伝える。	
	表現	外気や水・泥等に触れ全身で感覚を楽しむ。	保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムをする等、身体を動かして遊ぶ。	自分なりのイメージを膨らまして、保育士や友達と楽しんで遊ぶ。	いろいろな素材や用具に親しみ、友達と歌ったりリズムをする。	描く、体を動かすなど、自由に表現することを友達と共に楽しむ。	自分のイメージしたことを動きや言葉、絵などで表現する。	
食育	食を営む力の基礎	食することに意欲を持つ。自分で食べようとする気持ちを育てる。	食べ物に興味を持って自分で意欲的に食べようとする。自分で食べようとする。	食事に興味を持ち、意欲的に食べる。	友達と楽しみながら食べる。	食事の大切さがわかり、楽しく食事をする。	健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事をする。	
健康支援		・毎日の視診による健康状態と発達状態の把握 ・内科健診、歯科検診 ・家庭との連携			小中学校との連携		・小中学校との交流 ・小学校参観日への参加 ・園行事への小中学生の参加 ・保育所児童保育要員の送付	
環境・衛生管理		・施設内外の設備・用具等の清掃 ・安全管理、点検 ・玩具等の消毒、点検 ・布巾乾燥(年2回)			特色ある保育		・小中学校との交流 ・水、砂、泥遊びや散歩などの戸外遊び ・裸足、裸着 ・子ども園連立施設の特長を活かした交流	
安全対策・事故防止		・毎月の避難訓練(火災・地震) ・消防点検(年2回) ・消防・消火訓練の実施 ・交通安全教育			自己評価		・自己評価表の作成 ・保育所評価(指定管理評価シート)	
保護者・地域への支援		・育児相談支援 ・視察体験、実習生、ボランティアの受け入れ ・子育てのための情報提供			研修計画		・園外(札幌市、札幌市、その他)研修への参加 ・園内研修の実施	
地域への行事参加		・高齢者施設訪問 ・地域子育て事業との意見交換						

<各年齢のまとめ>

0歳児 ペんぎん組

年間目標 ・生活リズムや生理的欲求、甘えなどの欲求をみたしてもらい、保育士との信頼・愛着関係のもと安定した生活を送る。

・身近なものに興味や関心を持ち、見る・触れる・探索するなど自ら関わろうとする。

保育士との愛着関係が深まっていく中で、担任との関係を基盤に後半は0歳児なりに他児との関わりの広がりを感じた。日々の生活の積み重ねの中で、0歳児なりの見通しを持ちやってみようとする姿が見られた。園庭での遊びや散歩を通して季節の変化を感じたり、保育士間の話し合いをこまめに 行うことで、子どもたちの成長・発達に見合った手立てができた。今後も連携と保育感の統一を十分に していくことを課題とする。

1歳児 うさぎ組

年間目標 ・安心できる環境の中で自分の思いを充分に出したり、やってみたいという自我を膨らませていく。

・見立てつもりあそびを通し、共感する心地よさを重ねていく。

自分で、という気持ちが膨らみ意欲的に身の回りの事をやろうとするようになった。子ども同士のかかわりが増え、見立てつもりあそびや簡単なごっこ遊びを楽しんでいた。外遊びでは寒さの苦手な子は長い時間遊べずにいたが、外に行きたがる子は大きい子と遊び、なかなか入りたがらないほど遊んでいた。いたずらを沢山し、自分の思いを言葉で表現する事ができるよう色々な大人と関わり、持っている力を出していく。

2歳児 きりん組

年間目標 ・保育士と安定した関わりの中で、生活習慣を身につけ自分でできる喜びを感じる。

・自己主張をしながら友だちと関わることを楽しむ。

一人一人が成長したことでみんなで集まって話を聞いたり、身の回り全般の事を自分でやれるようになった。大人に気持ちを受け止めてもらうことで自分なりの主張を出し、ぶつかり合う中で友だちへの気持ちが広がっていった。子どもが自分でやる事の大変さを親が理解し見守ってもらえるよう子ども達が生活しやすい環境を考えていく。

3歳児 ひつじ組

- 年間目標**
- ・身の回りのことを自分ですることを重ね、認めてもらう事で自信をもって過ごす。
 - ・遊びや生活の中で体を作っていく。
 - ・友達とのかかわりを楽しみ、様々な思いを共感しあう。

自分たちのできる事が増え、それが自信になり、意欲的になっていった。毎日のようにリズムをしたり、椅子や布団を運ぶなど生活の中で手を使う事を積み重ねたが、指先が不器用な子が多かった。ので引き続き遊びを通して体づくりを意識した活動をしていく。今後も友達関係が広がっていく中で見守ることを大切にしながら、子ども同士が共感し関係を深められるようなかかわりを心がけていく。

4歳児 あひる組

- 年間目標**
- ・基本的な生活習慣を身につけ、見通しを持ち自分で考えながら生活していく。
 - ・友達との関わりの中で、気持ちや状況に合った伝え方や相手の気持ちを知り、一緒に考えたり、力を合わせることの楽しさや喜びを積み重ねていく。
 - ・身近な社会や自然に興味を持ち、様々な発見や経験をしながら遊び、過ごしていく。

生活の流れを変えたことで自分の生活をより意識できるようになってきた。子ども達の様子を見ながら主体的な活動ができるよう考え、生活の基盤となる少人数のグループを新しくしたことで関りが膨らんできたので、友だちと共感・共有できるような経験をしていく。

5歳児 かもしか組

- 年間目標**
- ・身の回りの事を意欲的に行う。
 - ・相手の話を聞き自分の気持ちも表現する。
 - ・様々な体験を通してみんなで協力しやり遂げた充実感を味わう。

身辺整理の苦手な子・家庭での生活が変わらないため自分の事が自分でできない子や、自分だけ良ければいいという子が多かった中、どうしたら仲間を意識できるかと悩んできた。日々楽しいことを共有する経験を重ねていく中で、思いを出し合い集団の中で気持ちに折り合いをつける事ができるようになってきた。

夜間

- 年間目標**
- ・自分の思いを十分に出し、保育士に受け止めてもらい、安心して過ごしていく。

・簡単な身の回りの事を自分で行う

1名の夜間だったのでゆったりと食事をする事ができた。身の回りの事を日中と連携しながら関わってきた。夜間の時間がさらに安心できる場所になるように関わり、遊びもマンネリ化にならないよう関わりながら楽しめる遊びを探っていく。

10. 年間行事報告

月日	行事	内容・感想
5月8日	園医健診（全クラス）	0～5歳児までの健診で特に異常はなかった。
6月4日	乱拍子芸能観劇（5歳）	太鼓の迫力に真剣に見たり手拍子をする場面があった。大きな音や初めての場所が苦手な子には担任が付き安心して見られるようにした。
6月9日	父母の会総会	前年度の係からの引継ぎ・役員決め
6月11日	円山登山（5歳児）	転倒し易い子の情報を共有し怪我に繋がらないようにできた。桑の実をみつけ食べたことで次回への見通しにも繋がった。
6月12日	年長合宿（自園）	1日目登山、2日目は中島公園散歩。忘れ物が普段からある家庭は、当日も忘れていたので今後の課題となった。
7月17日	園医健診（乳児）	0歳児のみの健診で特に異常はなかった。
7月31日	年長合宿（滝野）	普段できない川遊びで水辺の生き物や虫に触れる事ができたが、物の管理では課題のある子が数人おり、身支度に困っていた。
8月7日	夏まつり（全クラス）	盆踊りは太鼓を囲む形で1回目から全クラスで踊ったが、誕生会と同じコの字型にしても良かった。子ども達からは楽しかったという声があった。
9月4日	園医健診（乳児）	0歳児のみの健診で特に異常はなかった。
9月14日	運動会（全クラス）	夏のように暑くなった時間帯にアナウンスで水分補給を促した。日々の取り組みの積み重ねで子ども達が自信をもって競技に参加する事ができていた。
10月1日	円山登山（5歳児）	安全の為、軍手をしていたことで転んだ時も怪我がなかった。紅葉が始まり秋の風景に触れる事ができ壁面製作にも活かした。
10月4日	味覚祭（全クラス）	秋の味覚を園児たちが近くで見て・触れて・匂いを感じる事ができた。

10月11日	小4との交流（5歳児）	兄弟のいる学年だったので園児から積極的にかかわることが多かった。人形に触れさせてもらい作り方も聞いたりと交流が持てた。
10月16日	円山登山（4歳児）	地下鉄で行くのが初めての登山だったが全員が頂上まで行く事ができた。登山への見通しを持ち散歩を積み重ねてきた結果をいかせた。
10月30日	円山登山（5歳児）	登山の回数を重ねてきたので子ども達が周りの景色の変化を感じながら登っていた。持ち物を忘れる家庭が多いので、家を出る前に確認をしてくるよう保護者にも伝えたことが良かった。
10月31日	円山登山（4歳児）	前日の雨で登山は危険だったため、北海道神宮を散策。木登りや落ち葉拾いなどし、本殿も参拝することができた。
11月7日	歯科検診（全クラス）	磨き残し、虫歯のある子には受診を勧めた。
11月12日	こぶし座観劇（5歳児）	獅子舞を見て泣く子もいたが目はしっかりと獅子をみていた。獅子舞ごっこ遊びが広がった。
11月20日	交通安全教室（3.4.5歳児）	冬の服装や交通ルールについての話を聞くことで散歩の際に気を付けるきっかけとなった。
11月27日	園医健診（全クラス）	0～5歳児までの健診で特に異常はなかった。
11月28日	乗馬体験（5歳児）	始めは馬を怖がっていた子もいたが、実際目の前にすると嬉しそうに自ら馬に乗っていた。係の人に馬についての質問ができたりと貴重な体験だった。
12月19日	クリスマス会（全クラス）	知っている曲に合わせて手を叩いたり、どの年齢の子も楽しそうにクリスマスを祝っていた。
1月6日	門付け（全クラス）	乳児は離れたところで見ている子もいたが年長は獅子舞の動きに見入っていた。無病息災を願い獅子舞に頭を噛んでもらい、その後は獅子舞ごっこへと発展していた。
1月8日	もちつき（全クラス）	着いた餅の感触を味わったり、鏡餅にして飾る事ができた。餅つきを年長・保育士・保護者にしてもらったが予定より時間がかかってしまった。
1月29日	園医健診（乳児）	0歳児のみの健診で特に異常はなかった。
2月3日	節分（全クラス）	手作りの升に豆を入れて年長鬼に豆をぶつけ無病息災を願った。

2月20日	氷像制作見学（4.5歳児）	大きな氷の塊から動物の形が掘り出され、興味を持って見ていた。出来上がった氷像に触れたり近くで見ることができ芸術に触れる貴重な機会だった。
3月3日	ひな祭り（全クラス）	ひな祭りの由来やパネルシアターを見て子ども達が季節の行事に興味関心を持つ事ができた。
	お茶会（5歳児）	生け花や帯を飾り付けした部屋で年長児が抹茶と干菓子をいただきお茶の作法を学んだ。
3月15日	卒園式（4・5歳児）	卒園児の保護者と4歳児がお祝いをした。日々の積み重ねを基盤とした1部2部を行えた。
3月25日	進級・お別れ会（全クラス）	進級する喜びとお別れの淋しさを感じ、進級への見通しが持てている子が多かった。
3月25日	円山動物園（5歳児）	数日後に卒園を控え最後の園外だった。昼食後から出発し現地でおやつを食べてからの帰園だった。時間をかけて様々な動物を見る事ができた。
3月26日	園医健診（全クラス）	全園児に年齢ごとの健診を保護者が忘れず受けるようにと助言があった。
3月28日	円山動物園（4歳児）	進級祝いに自分のマークの動物を実際に見るために出かけた。仲間と相談しながら順を決めたことで、どの子も満遍なく希望の動物を見る事ができた。

1 1. 食育実践

日付	クラス	目的	感想
R6年 4月26日	5歳児	旬の素材を知ってもらう	子どもたちの前でクッキングをすると使う食材や調味料に興味を示していた。薄味で良い出来でたけのこが苦手な子も食べていた。
メニュー		レシピ	
たけのこご飯		油揚げ、人参を刻み、醤油、出汁を合わせて入れ、炊飯器で炊きこむ	

日付	クラス	目的	感想
R6年 4月26日	3歳児	春の食材を味わう	素朴なものだがおかわりをする子どもも多く子ども達が食べる前に鰹節を入れて仕上げたのが良かった。
メニュー		レシピ	
たけのこの土佐煮		砂糖、醤油、出汁と鰹節を入れて煮る	

日付	クラス	目的	感想
R6 年 5 月 1 日	4・5歳児	防災食を知る	しょうがを入れたことで生臭さがなくなり おかわりをする子が多かった。 ひと手間かける事で美味しく食べる事 ができて良かった。
メニュー		レシピ	
さんま缶の混ぜご飯		ごはんにさんま缶を入れて混ぜ、刻 んだ生姜・大葉をくわえる	

日付	クラス	目的	感想
R6 年 5 月 8 日	5 歳児	春の食材を味わう	不人気かと思ったが、園庭で育ったも のが食べられると知り驚いていた。素朴 なものだったが、おかわりをする子も多 かった。
メニュー		レシピ	
ヨモギの天ぷら		ヨモギに衣をつけて揚げ、出来上が ったら塩を振る	

日付	クラス	目的	感想
R6 年 7 月 5 日	4 歳児	自分たちで育てた小松菜がどんな 味なのかを知る	給食では不人気の小松菜だが、自分 たちで育てたのもあり、美味しい・また 食べたいとはなしていた。
メニュー		レシピ	
小松菜の塩昆布和え		湯がいた小松菜を食べやすい大き さに刻み、塩昆布を和える	

日付	クラス	目的	感想
R6 年 8 月 22 日	5 歳児	夏の食材を味わう	大葉が苦手な子もいたが味噌で甘じょ っぱく味付けをすると、ご飯にのせて美 味しそうに食べていた。
メニュー		レシピ	
大葉味噌		刻んだ大葉を味噌・砂糖・みりん で味付けし鍋で焦げないように煮詰め る	

日付	クラス	目的	感想
R6 年 10 月 4 日	5歳児	秋の味覚を知り苦手な食材も食べ てみる	味覚祭でのキノコを使っでの料理だっ た。キノコが苦手な子も風味がよく、お かわりをしていた。
メニュー		レシピ	
キノコのチヂミ		小麦粉を醤油・だし汁でのばし、キ ノコを混ぜてごま油で焼く	

<総評>

- ・ 5歳児を中心に旬の食材を使って目の前で保育士が作るだけでなく、子どもたち自身が調理できる場があり良かった。家庭でも作っていたようだった。
- ・ 畑づくりやクッキングを通して旬の食材を知り、食べることへの興味をもち、みんなで一緒に食べることを楽しめていた。

1 2. 施設設備に関する実績

<施設設備>

- ・ 2歳児保育室エアコン部品取替え(8月)
- ・ 玄関照明器具修繕(8月)
- ・ 休憩室扇風機交換(9月)
- ・ 厨房食洗機水漏れ修繕(12月)
- ・ 物置の隙間ネット設置(2月)
- ・ 1階畳縁交換・表替え(3月)

1 3. 保健計画実績

<健康管理>

園医:母坪医師(さっぽろ小児内分泌クリニック)

園児建診	5月 8日
園児建診	7月 17日
園児建診	9月 4日
園児建診	11月 27日
園児建診	1月 29日
園児建診	3月 26日

歯科医:尾崎医師(尾崎歯科医院)

歯科建診	11月 7日
------	--------

<事故及び負傷>

4月13日(2歳児)

土曜の昼食時に2歳児クラスから1歳児クラスへ合同になる為に移動していた際に保育士を追い越して部屋に入った。その際に部屋の入り口で滑り右手の甲を下にして転び右小指を骨折した。受診してから完治まで1か月かった。

4月19日(3歳児)

外遊びを終え室内に入り、着替えてズボンに片足を入れたままバランスを崩し、顔を床にぶつけ歯と歯茎から出血した。ぐらつきがある為、受診し医療用のボンドで固定し1か月後に完治した。

6月13日(1歳児)

周りを見ずに園庭を歩いていた際、段差の縁から転び鼻に擦り傷ができてしまった。

受診後に塗り薬で対応し、3日後に完治した。

6月13日（2歳児）

バケツを持って遊んでいた際に顔を擦った。受診し、化膿止めの塗り薬を貰い10日後に完治した。

6月14日（2歳児）

砂場で遊んでいた際に他児がすくった砂が顔にかかり、左目の中に入った為に眼科を受診。異物もその日のうちに取り除き、念のために抗菌目薬を貰い完治した。

6月15日（4歳児）

人工芝で遊んでいた際に転び、滲出液が出ていたため受診した。

化膿止めの飲み薬・塗り薬をもらい1週間後に完治した。

8月2日（1歳児）

プールあそび後にぎこちない歩き方と痛がる様子があったので、念のため整形外科を受診した。異常は見られず翌日は普段通りに登園した。

8月21日（2歳児）

プールで遊んでいた際に縁に顔をぶつけ、口から出血した。すぐに歯医者を受診しレントゲンを撮ったが異常はなく消毒のみで3日後に完治した。

9月12日（2歳児）

自宅の怪我で足の爪がはがれていたが保育園での遊びの際に再度出血してしまった為、皮膚科を受診した。軟膏が処方され、ガーゼで覆うように指示があり2週間後に完治した。

9月24日（2歳児）

午睡前に自分で戸を閉めた際に自ら足を挟めてしまい、赤くなってしまったので受診した。赤み以外に異常はなく、翌日から普段通りに登園している。

9月24日（3歳児）

他児と追いかけてっこをしていた際に他児が急に立ち止まり、他児の頭に本児の前歯がぶつかり出血が見られたので歯医者を受診したが、消毒のみで終了した。

10月17日（0歳児）

ウッドデッキで遊んでいた際に、自ら転び口をぶつけ出血していたので歯医者を受診し消毒をした。翌日には完治していた。

10月23日（2歳児）

他児が閉めた引き戸に右足小指が巻き込まれ皮が剥けたので、皮膚科を受診した。塗り薬を貰い3日後に完治した。

10月26日（5歳児）

0歳児クラスにて布ボールで遊んでいた際に自分で壁に指をぶつけた。すぐに冷やしていたが青くなってきた為に整形を受診した。レントゲンを撮ったが異常はなく、2日後には完治していた。

11月14日（5歳児）

友だちに手を引っ張られた際に左腕を痛がっていた為、整形を受診した。肘内障と診断され受診後は普段通りに過ごした。

12月3日（1歳児）

園庭の物置の隙間に興味を持って入ってしまい出ようとした際に頭が挟まってしまった。無理に動かすと怪我をしまうので救急車を呼び、ジャッキで救出してもらった。幸いけがはなく保護者に医師からも説明をしてもらい、翌日も元気に過ごせていた。

1月17日（2歳児）

雪合戦で走っていた際に、つまずいて転び、目の下と鼻を擦りむいた。出血していた為、皮膚科を受診し塗り薬を貰い3日後には完治していた。

14. 防災計画実績

<自衛消防隊>

防火責任者	園長	
通報・連絡	事務員	防火責任者(園長)に連絡し、119番通報
初期消火	調理員・用務員	消火器を用いて初期消火の任にあたる
避難・誘導	全保育士	
探索・救護	園長 主任保育士・フリー保育士	残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置(必要時)
保護者への引渡し確認	各組担任保育士	必ず避難場所で確認後、保護者へ引き渡す
非常書類持出	園長 事務員	書類関係 登園表、緊急連絡網

<避難訓練>

日付	訓練内容および反省
4月17日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	ベルの音を聞き、保育士の誘導で避難する →避難訓練の放送時は、給食が作り終わった時間帯で給食職員が全員いたため、消火活動がスムーズにできた。新年度になり、初めての訓練だったが、新入児も時間内に避難ができた。だが、幼児クラスが避難時の衣類袋を忘れていたので、衣類袋が何故必要か、理由を説明した。

5月14日 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する →おやつのと、外遊び中の時間ではあったが、素早く集まることができた。放送でも「小学校からの出火のため、園庭へ避難してください」との指示により、人工芝に避難できていた。2Fから避難したひつじ組は衣類袋を持って子ども達が降りてきていたので、日頃の訓練の賜物だと思った。
6月25日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い落ち着いて避難する →大半の子はおやつが終わり、園庭で遊んでいたが「外で放送が小さくてあまり聞こえなかった」との声が点呼時にあったので、すぐに機械を調整し、外にもサイレンと音声が聞こえるよう対応した。子ども(幼児)たちは、自ら衣類袋を持って避難することが自然と習慣づいてきた。今後は、職員とも各クラスの災害時の動きについても再度確認したい。
7月26日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する →おやつ後で外遊びに出ているクラスもあったが、園庭側に集まり、小学校からの火災をしっかりと避けての避難ができていた。 集まってからも小さい子は、大人の姿をみて身体を小さく丸めたり、幼児も「しー」「しゃべらないよ」「火事だから口をあけないよ」など声を掛けたり、気を付けている姿もみられるようになり、意識していると感じた。
8月26日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示通りに機敏に避難する →給食室にいた職員が消化スプレーを使って消火訓練を行う事ができていた。子どもたちは、2Fから避難する際に、Tシャツや手で口元を押さえたり、衣類袋を持ち出していたり、非難に対する意識が身についてきた。実際の災害時にも活かしていきたい。
9月18日 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する →コロナが明けて久しぶりの合同避難訓練となり、各クラスとも放送が鳴ると同時に素早く逃げる事ができていた。0～3歳まではグラウンドへ保育士と共に避難した。4・5歳のみ小学生と共に整列し、火災訓練のため、自ら口元を押さえたり「静かにするんだよ」と声をかけあったりしていた。習慣づいているのを感じた。
10月28日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	夜間保育士の指示に従い避難する →夜間保育中の避難訓練ということで、少ない人数での訓練だった。給食職員からの発声で保育中の子どもと保育士がすぐに給食職員と合流。掃除をしていたもう一人の保育士も合流し素早く避難できた。役割分担もできていた。 夜間用リュックを持参して避難したのは良かったが、園児の衣類袋を忘れていたので、次回は忘れぬよう避難する。
11月19日 (地震・給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、安全な場所に避難する →今回は、地震のあとに給食室からの火災がおきた想定で行った。寝起きの時間という事もあり、ホールにほとんどの子と大人がおり、ガラスを避けて避難することができた。冬になるので、衣類袋を避難時に持ってくるより、防寒対策をするよう改善していきたいと思う。
12月13日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	放送をよく聞き落ち着いて行動する →雪が降ってから初めての訓練だったが、午前の活動中にアナウンスがあると皆が立ち止まっていた。室内、屋外と活動しているクラスがいたが、アナウンスを聞き、学校から離れた園庭やホールの出入り口など、すぐに避難できる安全な場所へ待機していたのが良かった。訓練での衣類袋持参や静かに集まり座って待つなどの訓練を幼児中心に習慣化しているのを感じた。

1月27日 (給食室より出火) 避難・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する →幼児クラスは、ジャンパーや衣類袋を持ち、ホールまで避難することができていた。放送を最後まで聞き非難を開始。最後に園長から火災の際の注意事項を話した。以前よりも真剣に聞く姿がみられた。給食室では、ガス台からの火災を想定して消火シートを広げたり、スプレー式の消火剤で消火するという行動までスムーズに行っていた。
2月17日 (地震・水害) 避難・消火・誘導	全館放送を聞き、保育士の誘導で避難する →地震の起こった後に、しばらくして川の水が増水して園が浸水するという設定だった。地震の時に窓を開けるという事や蛍光灯など上からの落下物が落ちてこない所に避難するという2点を職員間でも連携できると良かったと思う。浸水では、2Fに乳児が避難するという事になるので、実際は幼児のところについている職員が素早く乳児クラスへ走り移動を手伝う事が必要になるので、情報を共有して行っていく。
3月5日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、積極的に行動する →2人いた給食職員がすぐに消化スプレーとシートを使い消火動作を行っていた。乳児・幼児ともに放送で上着着用と衣類袋を持って避難するよう指示があったので、ほとんどの子ができていた。冬は火事が起きやすいので、給食室には充分気をつけるよう促した。

※計画では、年2回の(5・9月)施設合同避難としていたが、5月は調整がうまくいかず、中止となった。

15. 要望・苦情に対する対応

匿名の投書で乳児クラスの園児の世話をしていた園児に対して冷たくあしらう言葉を3歳児クラスの担任がかけていたという意見が寄せられた。緊急会議を開き、全職員が子どもに対する行動や言葉がけを振り返る機会を持った。職員同士が言い合える関係が再発防止に役立つと考え、不適切保育について再確認した。その後、掲示板に意見の内容を掲示した。

16. 保護者に関する実績

<父母の会・懇談会・観劇>

父母の会 定期総会(6月19日)

学習会・・・食育について栄養士からの話・給食の試食会

役員会・・・年5回開催

懇談会 クラス懇談会は、各クラスでおおむね計画通り行うことができた。

必要に応じて個人懇談を行う機会を設け、希望者と懇談を行った。

観劇 全園児がホールに集まりこぶし座や乱拍子の和太鼓や獅子舞などの日本の伝統文化に触れる事ができた。

<保護者アンケート>

回収率 73.7%

(1)施設の利用には、満足していますか？

- ① とても良い 58.1% ② 良い 37.6% ③ 普通 4.3%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(2)施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？

- ① とても良い 54.8% ② 良い 29.6% ③ 普通 12.7%
④ あまり良くない 2.9% ⑤ 良くない 0.0%

(3)保育園の行事について、どう思いますか？

- ① とても良い 55.8% ② 良い 34.3% ③ 普通 9.9%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(4)保育園の食事(おやつ)について、どう思いますか？

- ① とても良い 52.0% ② 良い 42.0% ③ 普通 4.0%
④ あまり良くない 2.0% ⑤ 良くない 0.0%

(5)職員(保育士)などの対応は良好ですか？

- ① とても良い 72.3% ② 良い 23.4% ③ 普通 3.3%
④ あまり良くない 1.0% ⑤ 良くない 0.0%

(6)保育サービス全体の評価はいかがですか？

- ① とても良い 68.6% ② 良い 27.1% ③ 普通 4.3%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

17. 施設間と地域との交流実績

6年生6名の職業体験を1～5歳クラスで2日間受け入れた。

2・4年生の生活科授業にも参加させてもらい、年長は就学への見通しができた。

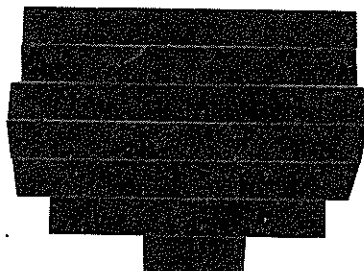
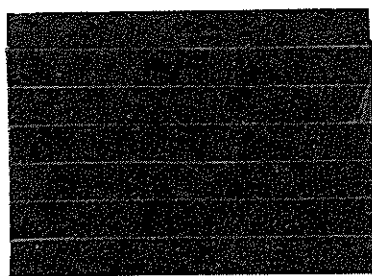
ミニ児童会館の1年生をもちつきに招待し、年長と交流した。

札幌市しせいかん保育園

令和 6 年度 決 算 報 告 書

法 人 名
法人代表者
施 設 名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 スティーブン・モーリス
札幌市しせいかん保育園
施設長 吉村 政美



第一号第四様式（第十七条第四項関係）

拠点区分資金収支計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業収入	保育事業収入	136,149,000	136,684,878	△535,878	
	委託費収入	122,904,000	122,379,780	524,220	
	利用者等利用料収入	185,000	188,328	△3,328	
	利用者等利用料収入(公費)	32,000	28,824	3,176	
	利用者等利用料収入(一般)	153,000	159,504	△6,504	
	その他の事業収入	13,060,000	14,116,770	△1,056,770	各種補助金等、見込より増額
	補助金事業収入(公費)	11,424,000	11,964,320	△540,320	
	市区町村人件費補助金	3,891,000	4,792,370	△901,370	
	延長保育促進事業補助金	5,519,000	5,352,150	166,850	
	障害児保育促進事業補助金	1,097,000	1,096,800	200	
	市区町村その他補助金	408,000	403,000	5,000	
	補助金事業に係る利用者負担金収入	509,000	0	509,000	
	その他の補助金	0	320,000	△320,000	
	補助金事業収入(一般)	0	516,850	△516,850	
	補助金事業に係る利用者負担金収入	0	516,850	△516,850	
	その他の事業収入	1,636,000	1,635,600	400	
	受取利息配当金収入	8,000	8,681	△681	
	受取利息配当金収入	8,000	8,681	△681	
	受取利息	8,000	8,681	△681	
	その他の収入	4,489,000	4,446,060	42,940	
	受入研修費収入	76,000	76,000	0	
	その他	76,000	76,000	0	
	利用者等外給食収入	1,096,000	1,053,180	42,820	
	雑収入	3,317,000	3,316,880	120	
	退職共済預け金差益	3,250,000	3,250,150	△150	
	雑収入(消費税対象外)	0	66,730	△66,730	
	雑収入(非課税収入)	67,000	0	67,000	
	事業活動収入計(I)	140,646,000	141,139,619	△493,619	
事業活動に要する支出	人件費支出	120,837,000	121,880,420	△1,043,420	賞与引当金分、社会保険料計上漏れ
	職員給料支出	46,597,000	46,629,354	△32,354	
	職員俸給支出	36,718,000	36,619,826	98,174	
	職員諸手当支出	9,879,000	10,009,528	△130,528	
	通勤手当	1,228,000	1,228,230	△230	
	その他手当	8,651,000	8,781,298	△130,298	
	職員賞与支出	19,605,000	19,569,510	35,490	
	その他手当	19,605,000	19,569,510	35,490	
	非常勤職員給与支出	31,094,000	31,716,010	△622,010	
	賃金	4,110,000	4,626,813	△516,813	
	通勤手当	1,062,000	1,631,240	△569,240	
	嘱託医手当	232,000	231,579	421	
	その他	25,690,000	25,226,378	463,622	
	退職給付支出	9,407,000	9,356,410	50,590	
	福祉医療機構	956,000	955,500	500	
	その他	8,451,000	8,400,910	50,090	
	法定福利費支出	14,134,000	14,609,136	△475,136	
	健康保険料・介護保険料	12,709,000	13,746,018	△1,037,018	賞与引当金分、社会保険料見込み漏れ
	雇用保険料	1,425,000	863,118	561,882	
	事業費支出	16,417,000	17,166,159	△749,159	
	給食費支出	7,925,000	7,605,151	319,849	
	利用者給食費	7,925,000	7,598,401	326,599	
	利用者外食費	0	6,750	△6,750	
	保健衛生費支出	223,000	248,637	△25,637	
	衛生用品	191,000	244,293	△53,293	
	その他	32,000	4,344	27,656	
	保育材料費支出	1,352,000	1,308,274	43,726	
	保育材料費	425,000	425,679	△679	
	保育行事費	907,000	850,095	56,905	
	その他	20,000	32,500	△12,500	
	水道光熱費支出	3,934,000	4,748,318	△814,318	
	ガス	216,000	196,718	19,282	
	その他	3,718,000	4,551,600	△833,600	
	消耗器具備品費支出	1,734,000	1,987,986	△253,986	
	課税物品	1,734,000	1,987,986	△253,986	
	保険料支出	207,000	222,160	△15,160	
	損害保険	207,000	222,160	△15,160	
	賃借料支出	942,000	966,863	△24,863	
	リース料	851,000	924,763	△73,763	
	レンタル料	91,000	42,100	48,900	
	雑支出	100,000	78,770	21,230	
	その他	100,000	78,770	21,230	
	事務費支出	7,252,000	6,431,264	820,736	
	福利厚生費支出	397,000	462,108	△65,108	

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

拠点区分資金収支計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
る	職員健康診断料	171,000	256,980	△85,980	
	慶弔費用	125,000	68,730	56,270	
	その他課税支出	41,000	31,948	9,052	
	その他対象外支出	60,000	104,450	△44,450	
	旅費交通費支出	289,000	153,570	135,430	
	交通費	289,000	153,570	135,430	
	研修研究費支出	432,000	374,280	57,720	
	研修会参加費	117,000	116,980	20	
	書籍・資料	50,000	28,710	21,290	
	研修旅費	265,000	228,590	36,410	
	事務消耗品費支出	133,000	174,896	△41,896	
	印刷製本費支出	204,000	215,505	△11,505	
	水道光熱費支出	817,000	0	817,000	
	その他	817,000	0	817,000	
	修繕費支出	675,000	632,176	42,824	
	通信運搬費支出	468,000	514,187	△46,187	
	電話料金	420,000	442,731	△22,731	
	郵便料金(宅配便含む)	44,000	71,456	△27,456	
	その他	4,000	0	4,000	
	会議費支出	10,000	10,000	0	
	業務委託費支出	2,339,000	2,394,000	△55,000	
	内部清掃委託料	86,000	44,000	42,000	
	警備業務委託料	35,000	0	35,000	
	税理士事務所報酬	370,000	424,600	△54,600	
	社会保険労務士	242,000	242,000	0	
	その他	1,606,000	1,683,400	△77,400	
	手数料支出	453,000	458,496	△5,496	
	銀行手数料	212,000	247,866	△35,866	
	産業廃棄物処理料	100,000	87,546	12,454	
	その他	141,000	123,084	17,916	
	土地・建物賃借料支出	180,000	179,640	360	
	土地	180,000	179,640	360	
	租税公課支出	176,000	176,436	△436	
	内部取引	176,000	176,436	△436	
	保守料支出	501,000	501,970	△970	
	OA、ソフト	501,000	501,970	△970	
	雑支出	178,000	184,000	△6,000	
	その他の支出	1,096,000	1,053,180	42,820	
	利用者等外給食費支出	1,096,000	1,053,180	42,820	
	事業活動支出計(2)	145,602,000	146,531,023	△929,023	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△4,956,000	△5,391,404	435,404	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	420,000	420,000	0	
	構築物取得支出	420,000	420,000	0	花壇土留柵分増
その他の活動による収支	出				
	施設整備等支出計(5)	420,000	420,000	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△420,000	△420,000	0	
	収入				
	積立資産取崩収入	5,201,000	5,150,760	50,240	人件費負担増による人件費取崩増
その他の活動による収支	入				
	退職給付引当資産取崩収入	5,201,000	5,150,760	50,240	
	退職給付引当資産取崩収入	5,201,000	5,150,760	50,240	
	その他の活動による収入	302,000	302,031	△31	
	過年度修正額収入	302,000	302,031	△31	
	その他の活動による収入計(7)	5,503,000	5,452,791	50,209	
	支出				
	積立資産支出	2,139,000	2,119,670	19,330	
	退職給付引当資産支出	2,139,000	2,119,670	19,330	
	退職給付引当資産支出	2,139,000	2,119,670	19,330	
	その他の活動支出計(8)	2,139,000	2,119,670	19,330	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,364,000	3,333,121	30,879	
	予備費支出(10)	0	—		
		0			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△2,012,000	△2,478,283	466,283	
前期末支払資金残高(12)		29,148,000	29,148,430	△430	
当期末支払資金残高(11)+(12)		27,136,000	26,670,147	465,853	

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収	保育事業収益	136,684,878	126,968,970	9,715,908
	委託費収益	122,379,780	111,935,270	10,444,510
	利用者等利用料収益	188,328	119,744	68,584
	利用者等利用料収益（公費）	28,824	30,700	△1,876
	利用者等利用料収益（一般）	159,504	89,044	70,460
	その他の事業収益	14,116,770	14,913,956	△797,186
	補助金事業収益（公費）	11,964,320	12,717,556	△753,236
	市区町村人件費補助金	4,792,370	3,871,856	920,514
	延長保育促進事業補助金	5,352,150	5,632,050	△279,900
	障害児保育促進事業補助金	1,096,800	0	1,096,800
	市区町村その他補助金	403,000	423,800	△20,800
	補助金事業に係る利用者負担金収入	0	669,850	△669,850
	その他の補助金	320,000	2,120,000	△1,800,000
	補助金事業収益（一般）	516,850	0	516,850
	補助金事業に係る利用者負担金収入	516,850	0	516,850
	その他の事業収益	1,635,600	2,196,400	△560,800
	経常経費寄附金収益	0	84,000	△84,000
	経常経費寄附金収益	0	84,000	△84,000
	寄附金収益	0	84,000	△84,000
	その他の収益	3,250,150	0	3,250,150
益	その他の収益	3,250,150	0	3,250,150
	退職共済預け金差益	3,250,150	0	3,250,150
	サービス活動収益計(1)	139,935,028	127,052,970	12,882,058
サ	人件費	120,264,330	107,270,499	12,993,831
	職員給料	46,629,354	47,131,176	△501,822
	職員俸給	36,619,826	36,367,926	251,900
	職員諸手当	10,009,528	10,763,250	△753,722
	通勤手当	1,228,230	1,336,970	△108,740
	その他手当	8,781,298	9,426,280	△644,982
	職員賞与	15,256,510	14,321,124	935,386
	その他手当	15,256,510	14,321,124	935,386
	賞与引当金繰入	5,728,000	4,313,000	1,415,000
	非常勤職員給与	31,716,010	24,759,886	6,956,124
ビ	賃金	4,626,813	3,206,786	1,420,027
	通勤手当	1,631,240	1,158,300	472,940
	嘱託医手当	231,579	231,579	0
	その他	25,226,378	20,163,221	5,063,157
	退職給付費用	6,325,320	3,034,250	3,291,070
	福祉医療機構	955,500	934,500	21,000
	退職給付引当金繰入	2,119,670	2,099,750	19,920
	その他	3,250,150	0	3,250,150
	法定福利費	14,609,136	13,711,063	898,073
	健康保険料・介護保険料	13,746,018	12,506,125	1,239,893
ス	雇用保険料	863,118	1,204,938	△341,820
	事業費	17,166,159	16,434,360	731,799
	給食費	7,605,151	7,292,688	312,463
	利用者給食費	7,598,401	7,292,688	305,713
	利用者外食費	6,750	0	6,750
	保健衛生費	248,637	247,874	763
	衛生用品	244,293	237,174	7,119

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

勘 定 科 目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
活	費	その他	4,344	10,700	△6,356
		保育材料費	1,308,274	1,103,441	204,833
保育材料費		425,679	300,579	125,100	
保育行事費		850,095	782,862	67,233	
その他		32,500	20,000	12,500	
動	増	水道光熱費	4,748,318	4,526,238	222,080
		ガス	196,718	185,038	11,680
		その他	4,551,600	4,341,200	210,400
		消耗器具備品費	1,987,986	2,032,022	△44,036
		課税物品	1,987,986	2,032,022	△44,036
		保険料	222,160	235,725	△13,565
		損害保険	222,160	218,290	3,870
		その他	0	17,435	△17,435
		賃借料	966,863	975,842	△8,979
		リース料	924,763	932,058	△7,295
減	の	レンタル料	42,100	43,784	△1,684
		雑費	78,770	20,530	58,240
		その他	78,770	20,530	58,240
		事務費	6,431,264	6,255,319	175,945
		福利厚生費	462,108	467,432	△5,324
		職員健康診断料	256,980	242,498	14,482
		慶弔見舞金	68,730	110,078	△41,348
		その他課税支出	31,948	31,536	412
		その他対象外支出	104,450	83,320	21,130
		旅費交通費	153,570	162,206	△8,636
部	用	交通費	153,570	162,206	△8,636
		研修研究費	374,280	312,020	62,260
		研修会参加費	116,980	143,720	△26,740
		書籍・資料	28,710	21,100	7,610
		研修旅費	228,590	147,200	81,390
		事務消耗品費	174,896	217,758	△42,862
		印刷製本費	215,505	207,605	7,900
		修繕費	632,176	632,234	△58
		通信運搬費	514,187	528,438	△14,251
		電話料金	442,731	444,040	△1,309
部	用	郵便料金(宅配便含む)	71,456	84,188	△12,732
		その他	0	210	△210
		会議費	10,000	19,000	△9,000
		業務委託費	2,394,000	2,312,220	81,780
		内部清掃委託料	44,000	44,000	0
		警備業務委託料	0	35,420	△35,420
		税理士事務所報酬	424,600	385,000	39,600
		社会保険労務士	242,000	242,000	0
		その他	1,683,400	1,605,800	77,600
		手数料	458,496	694,484	△235,988
部	用	銀行手数料	247,866	218,355	29,511
		産業廃棄物処理料	87,546	236,927	△149,381
		その他	123,084	239,202	△116,118
		土地・建物賃借料	179,640	167,824	11,816
		土地	179,640	167,824	11,816

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	租税公課	176,436	190,910	△14,474
	内部取引	176,436	188,810	△12,374
	その他	0	2,100	△2,100
	保守料	501,970	180,988	320,982
	OA、ソフト	501,970	180,988	320,982
	雑費	184,000	162,200	21,800
	減価償却費	1,762,534	1,089,463	673,071
	減価償却費	1,762,534	1,089,463	673,071
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△254,499	△319,763	65,264
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△254,499	△319,763	65,264
	サービス活動費用計(2)	145,369,788	130,729,878	14,639,910
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△5,434,760	△3,676,908	△1,757,852
サービス活動外増減の部	収			
	受取利息配当金収益	8,681	436	8,245
	受取利息配当金収益	8,681	436	8,245
	受取利息	8,681	436	8,245
	その他のサービス活動外収益	1,195,910	1,072,880	123,030
	受入研修費収益	76,000	90,000	△14,000
	その他	76,000	90,000	△14,000
	利用者等外給食収益	1,053,180	982,880	70,300
	雑収益	66,730	0	66,730
	雑収入(消費税対象外)	66,730	0	66,730
	サービス活動外収益計(4)	1,204,591	1,073,316	131,275
	費用			
	その他のサービス活動外費用	1,053,180	982,880	70,300
特別増減の部	利用者等外給食費	1,053,180	982,880	70,300
	サービス活動外費用計(5)	1,053,180	982,880	70,300
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	151,411	90,436	60,975
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△5,283,349	△3,586,472	△1,696,877
	収			
	施設整備等補助金収益	0	1,814,000	△1,814,000
	施設整備等補助金収益	0	1,814,000	△1,814,000
	その他の特別収益	302,031	0	302,031
	過年度修正額(収益)	302,031	0	302,031
	特別収益計(8)	302,031	1,814,000	△1,511,969
	費用			
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,814,000	△1,814,000
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,814,000	△1,814,000
繰越活動増減差額の部	特別費用計(9)	0	1,814,000	△1,814,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	302,031	0	302,031
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△4,981,318	△3,586,472	△1,394,846
	前期繰越活動増減差額(12)	33,305,864	28,892,336	4,413,528
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	28,324,546	25,305,864	3,018,682
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	8,000,000	△8,000,000
	保育所施設・設備整備積立金取崩額	0	8,000,000	△8,000,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	28,324,546	33,305,864	△4,981,318

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

拠点区分貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部	負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	31,857,870	35,453,460	△3,595,590
現金預金	20,374,110	29,271,713	△8,897,603
現金	71,762	21,752	50,010
しせいかん保育園小口	71,762	21,752	50,010
振替口座	915,447	295,688	619,759
ゆうちょ銀行51860	915,447	295,688	619,759
普通預金	19,386,901	20,954,273	△1,567,372
北海道銀行 中央支店 1257967	109,991	101,860	8,131
北洋銀行 札幌南支店 4212098	19,276,910	20,852,413	△1,575,503
定期預金	0	8,000,000	△8,000,000
北海道銀行 中央支店 423287	0	8,000,000	△8,000,000
事業未収金	11,328,294	5,780,532	5,547,762
利用者未収金	86,620	92,822	△6,202
その他の事業未収金	11,241,674	5,687,710	5,553,964
未収金	136,656	160,588	△23,932
職員等給食費実徴収金	35,100	24,000	11,100
その他	101,556	136,588	△35,032
貯蔵品	0	174,460	△174,460
前払金	0	28,547	△28,547
前払費用	18,810	37,620	△18,810
固定資産	41,263,575	45,810,089	△4,546,514
その他の固定資産	41,263,575	45,810,089	△4,546,514
建物	8,227,660	8,227,660	0
建物減価償却累計額 △	6,326,294	6,098,629	227,665
構築物	4,367,400	3,947,400	420,000
構築物減価償却累計額 △	2,814,835	2,401,335	413,500
車両運搬具	544,080	544,080	0
車両運搬具減価償却累計額 △	544,076	544,076	0
器具及び備品	9,275,404	9,275,404	0
器具及び備品減価償却累計額 △	4,284,579	3,237,693	1,046,886
ソフトウェア	253,465	327,948	△74,483
純 資 産 の 部			
国庫補助金等特別積立金	1,315,826	1,570,325	△254,499
国庫補助金等特別積立金	1,315,826	1,570,325	△254,499
その他の積立金	14,500,000	14,500,000	0
保育所人件積立金	10,000,000	10,000,000	0
保育所施設・設備整備積立金	4,500,000	4,500,000	0
次期繰越活動増減差額	28,324,546	33,305,864	△4,981,318
次期繰越活動増減差額	28,324,546	33,305,864	△4,981,318
(うち当期活動増減差額)	△4,981,318	△3,586,472	△1,394,846

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

拠点区分貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部	純 資 産 の 部		増 減	
	当年度末	前年度末	増	減
保育所繰越積立資産	10,000,000	10,000,000	0	
保育所人件費積立資産	10,000,000	10,000,000	0	
保育所施設・設備整備積立資産	4,500,000	4,500,000	0	
退職給付引当資産	18,065,350	21,269,330	△3,203,980	
資産の部合計	73,121,445	81,263,549	△8,142,104	
純資産の部合計		44,140,372		49,376,189
負債及び純資産の部合計		73,121,445		81,263,549
				△5,235,817
				△8,142,104

計算書類に対する注記

(札幌市しせいかん保育園拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物、車両運搬具、器具および備品―間接控除方式による定額法
- ・ソフトウェア―直接控除方式による定額法

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金―職員の退職金の支給に備え、掛金として支出した累計額を計上している。
- ・賞与引当金―6月賞与の基準在職期間のうち当年度分として、支給見込み額の4/6を計上している。
- ・徴収不能引当金―該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度および社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会の退職共済制度による。

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 札幌市しせいかん保育園拠点計算書類(会計基準省令第1号4様式、第2号4様式、第3号4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙3⑪)は該当なし
- (3) 拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙3⑩)は該当なし

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	8,227,660	6,326,294	1,901,366
構築物	4,367,400	2,814,835	1,552,565
車両運搬具	544,080	544,076	4
器具・備品	9,275,404	4,284,579	4,990,825
ソフトウェア	253,465	0	253,465
合 計	22,668,009	13,969,784	8,698,225

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
事業未収金	11,328,294	0	11,328,294
未収金	136,656	0	136,656
合 計	11,464,950	0	11,464,950

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし